

1

【死を打ち破り】

C G Dm F
 すべての人を見る 偉大な光
 C G Dm F
 暗闇を照らす まことの光
 Am G
 失望はない 主に頼るもの
 F G
 イエス・キリストは 生きている

※

C G
 死を打ち破り よみがえられた
 Am F
 すべての鎖 解き放つ
 C G
 主イエスの名を 呼ぶものはみな
 F G C
 救われる 救われる

C G Dm F
 イエスは主 イエスは主 救い主

【主を待ち望む】

待ち望む主を 待ち望む主を
 待ち望む主を 主を待ち望む

待ち望め主の栄光 待ち望め主の御国
 待ち望め主の御声 へりくだり御前に立つ

【主を待ち望む】

主を待ち望む者は 新たに力を受けてのぼる
 走り疲れず 歩みてうまず 驚のようにのぼる

【主がここにおられます】

1.
 主がここにおられます 近づこう恵み御座に
 主がここにおられます ふれましょう御霊に

2.
 麗しい助けぬし 活ける水 あふれ流れる
 あなたこそ癒し主 手をあげてたたえよう

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
 =教会員が恵まれて、礼拝・祈祷会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
 =ウクレレ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシア/イスラエルとパレスチナのため。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。
- 能登半島地震の被災地のため/南海トラフのため

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」
 「日本にはリバイバルが始まっています」
 「私も用いられます」
 「すべての問題は解決します」
 「することなすこと、みな成功します」
 「私のまわりには奇跡が起こります」
 「すべてのことを感謝します」
 「イエス様と一緒にですから」
 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



全世界に出て行って、すべての造られたものに
 福音を宣べ伝えよ。マルコによる福音書 16章 15節

祈りの小径(こみち)

Number: 210 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの
 街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にあ
 る「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字
 の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ヘブル人への手紙7章24～25節

24 しかし彼は、永遠にいますかたであるので、
変らない祭司の務を持ちつづけておられるので
ある。

25 そこでまた、彼は、いつも生きていて彼らの
ためにとりなしておられるので、彼によって神に
来る人々を、いつも救うことができるのである。

24 But He, because He continues forever,
has an unchangeable priesthood.

25 Therefore He is also able to save to the
uttermost those who come to God through
Him, since He always lives to make
intercession for them.

メッセージ・タイトル

「とりなしの祈り」がもたらす変革の御業



浅井俊貴・ひかり宣教師&永都(えいと)君

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

倉知牧師の みことばの解説 (コラム)

「主よ、ヨハネがその弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈ることを教えてください」ルカ11の1

イースター(3/31)の翌週から、「祈りの学校」というシリーズで礼拝・祈祷会とお話してきました。前回 5/26 が最終回と思いましたが、なんと今日のゲストであるインドネシアの教育宣教師・浅井俊貴先生が「祈りのメッセージ」を携えて来てくださいました。「祈ることを教えてください」と祈ったら、神様のほうが「もっと教えてあげよう」と語り続けてくださっています。真摯に受け止め、真理の御霊なる神様が教えてくださるメッセージにお従いしたいと思わされます。

今週の土曜(6/1)から、40日間の「祈りと断食」の連鎖祈禱に入ります。健康が守られるように注意しながら、一週間に一日でも一食でも断食して、主の御前に祈ることを挑戦します。とくに
(1) 私たちの街に住む人、また家族の救いのため
(2) 病気で闘う方の「癒しの奇蹟」のため
(3) 私たちが「涙の祈りの人」と変えられるため
祈りたいと思います。そして、「終わりのとき」であることを意識して、(つまり全世界に福音が伝えられてから最後が来るのですから(マタイ24:14))、
(4) 世界宣教のためにも祈らなければなりません。

主の御名を呼び求める者は救われます！しかし、使徒パウロは『宣べ伝える者がいなくては、どうして聞くことがあろうか。つかわされなくては、どうして宣べ伝えることがあろうか。』(ロマ書10:14-15)と語ります。主の麗しい足である宣教師のために、熱き祈りをもって霊的応援をいたしましょう！